

【まちの動きを調査】

常任委員会クローズアップ 総務文教常任委員会のうごき

『学校施設の長寿命化計画(素案)』を調査 ～ 令和2年7月21日 ～

教育委員会から「学校施設の長寿命化計画(素案)」についての説明を受けました。

この計画は、学校施設の中長期的な維持管理に必要な経費のトータルコスト縮減や平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的としています。

児童生徒数の減少が見込まれる中、築30年以上経過した建物が全学校施設(小学校9校、中学校5校)の86%を占めています。それら学校施設の今後の管理方針を示した計画になります。

計画の策定にあたって、教育委員会は全小中学校の学校施設劣化状況調査を実施し、劣化の状況を判定しました。劣化状況評価結果では、築30年以上経過した多くの施設で広範囲に劣化が見られ、特に屋根・屋上は「早急に対応する必要がある」学校が複数ありました。

この結果をもとに、教育委員会では今後40年間の維持・更新コストなどの検討も行い、従来の「改築中心の維持管理方法」から「長寿命化改修工事等による建物の長寿命化方針」に切り替えると説明しました。

◆ 委員からの主な質疑(抜粋)

Q: 全国知事会や町村会では、現在の半数程度の少人数学級の実施を国に要請している。札内南小など大規模校では、教室の面積自体が足りなくなる。

A: 国や北海道の少人数学級の方向性は、まだ定まっていない。現存の建物の長寿命化を図るという計画であり5年ごとに見直しをする。

総務文教常任委員会では、重点活動テーマを「小中学校大規模改修事業」とし、教育委員会が策定する「学校施設の長寿命化計画」について説明を受けるとともに、学校施設の視察などを行っています。調査研究を経て、今年3月には町への政策提言を行う予定です。

学校施設の状況を現地調査 ～ 令和2年8月11日 ～

劣化状況調査の結果、劣化が進んでいるとされた学校のうち幕別小学校、札内北小学校、札内東中学校を視察しました。



幕別小学校を視察

◆ 委員からの主な意見(抜粋)

■: 視察した学校の今後の改修内容や改修概算費用について今後示してほしい。

『学校施設の長寿命化計画(素案)』を調査 ～ 令和2年10月22日 ～

教育委員から長寿命化改修工事費の試算について説明を受けました。7～10億円/1校とした工事費のうち、国からの補助金や起債の交付税措置を控除した実質地方負担分は、2～3億円/1校との説明を受けました。

◆ 委員からの主な意見(抜粋)

■: 今後の町の財政運営に大きく影響する。起債の償還期間と財政シミュレーションについて、今後示してほしい。

編集後記

新型コロナウイルス感染症による影響は、町民生活のあらゆる所に広がりを見せています。皆さまの日々のご努力に心から感謝を申し上げます。

コロナ禍にあって、学ぶことも多くあったように思います。医療関係者の皆さんに対する感謝の気持ちを表すこともその一つです。

私たち議会の役割もますます大きくなります。「議会だより」で議論の様子を分かりやすく丁寧にお届けできるよう努力してまいります。 石川康弘

議会広報広聴委員会

委員長 内山美穂子 副委員長 荒 貴賀
委員 石川康弘 小田新紀 小島智恵 若山和幸
岡本真利子 酒井はやみ 小川純文

表紙写真募集

No.203号(6月1日発行)の表紙写真を募集しています。写真のテーマは「十勝の春」です。応募は、下記のQRコード等よりご応募ください。締切は、令和3年5月10日(月)です。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。

ご意見をお寄せください

「議会だより」への
ご意見・ご感想、「議会」
への質問など、皆さんの
声をメール、電話(左側
に記載)でお寄せくださ
い、お待ちしております。



議会メール以 議会ホームページ